

永瀬が銅 田代は5位



柔道

柔道は9日、男女2階級が行われ、男子81kg級

永瀬は準々決勝でセル

定戦でアブタンデル・

ア)。

の永瀬貴規(旭化成)はジュ・トマ(アラブ首長国連邦)に有効を奪われ銅メダルでした。女子63kg級の田代未来(コマチ)は5位。敗者復活戦を勝ち上がり、3位決定戦でアブタンデル・ア)に有効を奪われ、3位決定戦ではヤデン・ゲルビ(イスラエル)に技ありと有効を奪われて敗れました。ティナ・トルステニャク(スロベニア)が優勝しました。(時事)

永瀬貴規 金メダルし

か狙っていなかったの

で、悔しい。思い切りの

なさが敗因。臆病になっ

て本来の動きを出せず、

縮こまった。自分の弱さ

が出た。4年後の東京へ

向けて頑張りたい。

井上康生男子監督 彼

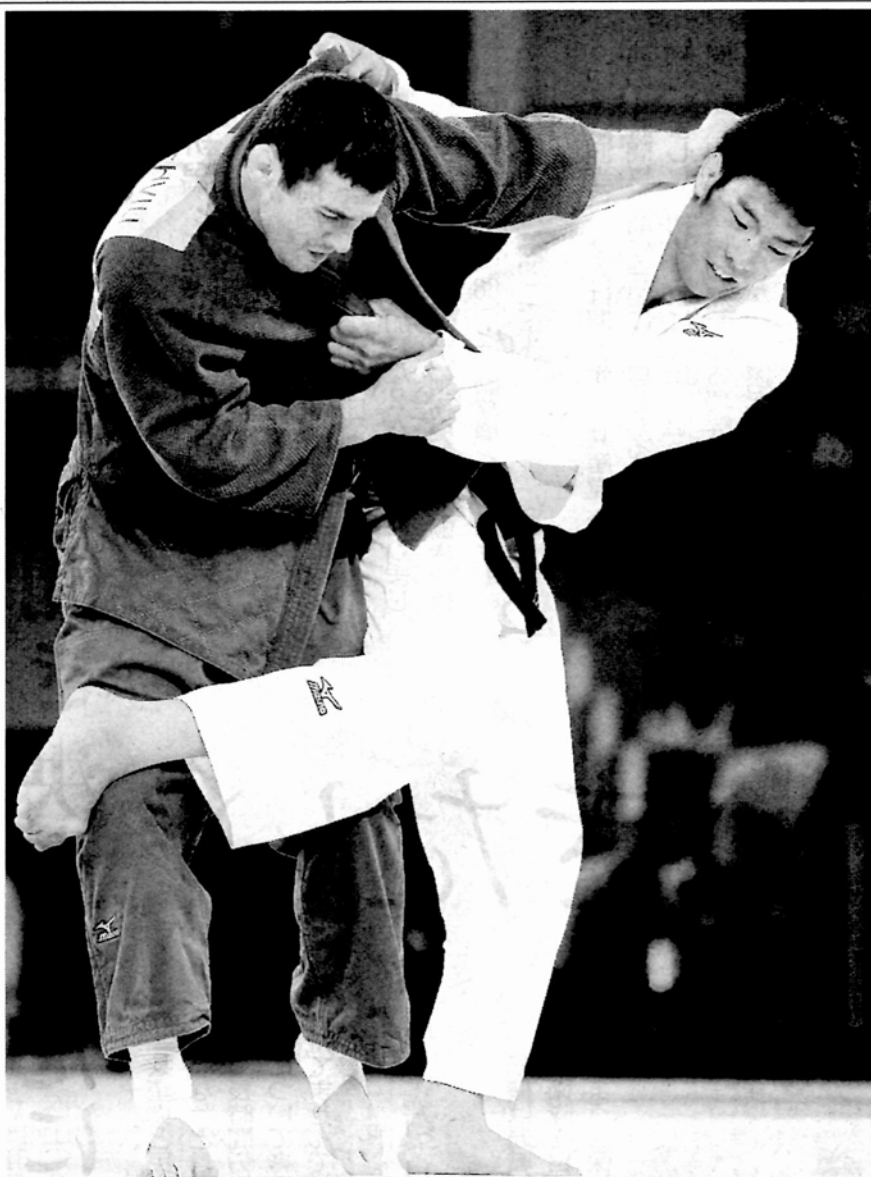
の力の50%も出せていな

かった。敗れた後に気持

ちを切り替えて、よく3

位を勝ち取った。まだま

う。(時事)



柔道男子81kg級3位決定戦、チリキシビリ(左)を攻める永瀬貴規(時事)

金の期待 マイナスに



正木照夫の

鉄人の目

田代は準決勝でクラリス・アグベニュー(フランス)に指導一つの差で敗れ、3位決定戦ではヤデン・ゲルビ(イスラエル)に技ありと有効を奪われて敗れました。ティナ・トルステニャク(スロベニア)が優勝しました。(時事)

だ強くなる選手。この経験が必ず彼を成長させてくれる。田代未来 本場に五輪を大きく感じていて、怖かった。勝たないと意味がない。ここまでたくさんの方が支えてくれて、背中を押してくれたにも関わらず、こういう結果になって申し訳なく思う。(時事)

準々決勝の永瀬選手はトマ選手に終始、組み手で負けていました。組み手が十分でない技の効果は半減し、切れもありません。世界ランク2位の永瀬選手に対して相手は9位。十分一

本取れるはずですが。しかし、のびのびとしていた世界選手権のような柔道が見えませんでした。重圧があったのでしょうか。いつもとは違って開き直って臨んだ敗者復活戦は一本勝ちし、3位決定戦も1位のチリキシビリ選手から大内刈りで有効を奪いました。実力通りでした。永瀬選手は真面目な性格の青年です。「金メダルに一番近い」と言われてきた周囲の期待がマイナスに影響したのだと思います。過大な期待が選手の精神的な負担にならないよう、スタッフは気を配ってほしいと感じました。田代選手は、準決勝で対戦したアグベニュー選手に5回も負けています。負けが続くと苦手意識が生まれてなかな

か勝てなくなるものです。しかし、今回は力で押してくる相手に組み手で負けず、踏み張りました。最後に、場外に逃げてしまいい指導をとられたのは残念でした。不注意でしょうが、大舞台ではあってはならない失敗です。悔いが残る負けでした。女子はランク上位が順当に勝ち、田代選手は3位決定戦で内股を返され敗れました。強豪相手に実力の差を見せつけられました。がちり組んでたたかえたので力負けはしていません。あとは思い切って攻めていくだけです。そのためにも、精神的な弱さを克服していく必要があるでしょう。(拓殖大学柔道部師範 八段)